



○以下の団体等から、「東北横断自動車道釜石秋田線の整備促進について」要望あり

- ・東北横断自動車道釜石秋田線、釜石・花巻間建設促進期成同盟会
- ・東北横断自動車道釜石秋田線沿線市町村連絡協議会
- ・東北横断自動車道及び三陸縦貫自動車道整備促進釜石市民会議
- ・釜石港湾振興協議会

事業評価監視委員会の意見

対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない
- ・宮守IC～東和IC 延長23.7km（2/4）が平成24年11月に開通
- ・遠野IC～宮守IC 延長9.0km（2/2）が平成27年12月に開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成23年度に事業化、用地進捗率80%、事業進捗率39%（平成27年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・事業の進捗に係る問題はない
- ・平成30年度 釜石JCT(仮)～釜石西IC(仮) 延長6.0km（2/2）開通予定
- ・平成30年度 遠野住田IC～遠野IC 延長11.0km（2/2）開通予定

施設の構造や工法の変更等

○事業費増

- ・トンネル掘削支保パターンの変更
- ・法面安定対策の変更
- ・巨大転石の破砕

○コスト縮減

- ・トンネル路側側溝の見直し

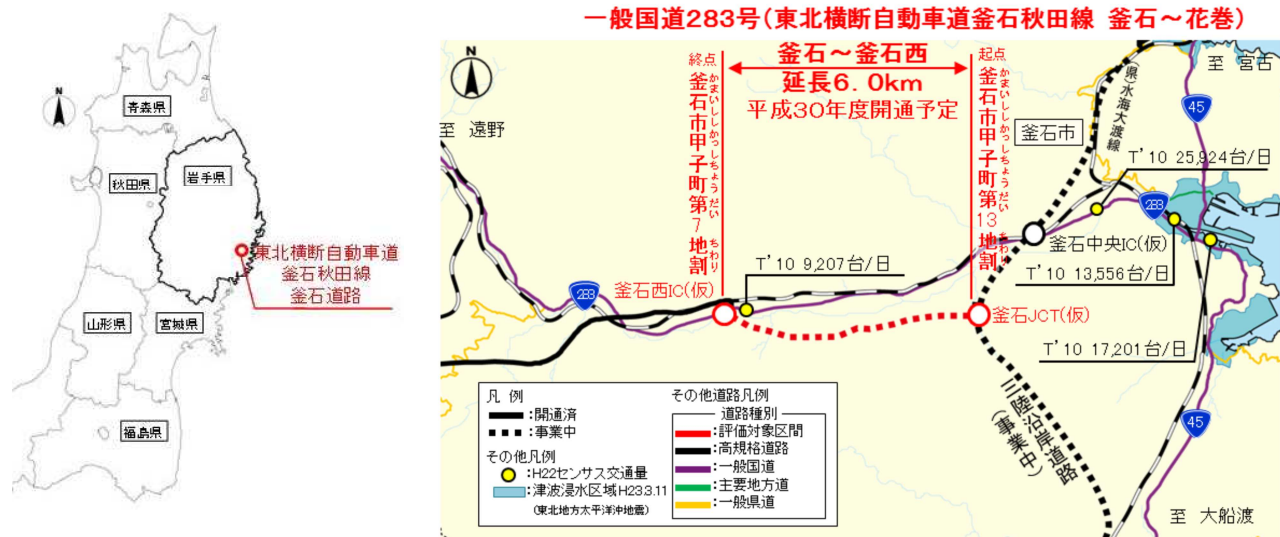
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる

事業概要図



- ※ 費用対効果分析結果における（ ）は、事業化区間のうちIC間の費用対効果分析の結果を示す。
- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。